

生活デザイン科って どんな感じ？



生活デザイン科について中村先生と東馬場先生に聞きました。「生活デザイン科では、食物、被服に加え、茶道、華道や保育、そしてリビングデザインなど多くの家庭系の実技科目を学び、短大・専門学校への進学や、県内外の企業への就職を目指しています。また被服を例にあげると、作品を作り上げた時の達成感が一番の醍醐味と言えます。3年生になると課題研究を行うこととなり、その発表の場が文化祭であったりします。最終的には、様々な資格を取得しますが、みんな真剣で、そして楽しく学んでいます。興味のある中学生的皆さん、一緒に楽しく学びませんか？皆さんの入学をお待ちしています。」

◎取得できる主な資格

- 家庭科食物調理技術検定
- 家庭科被服製作技術検定（和・洋）
- ワープロ実務検定
- パソコン入力スピード検定

生デ科ナビティーチャー①



中村 佐利美 先生
生活デザイン科学科主任・被服担当。高校教員歴11年。垂水高校で2年目を迎える。口癖は「時間がない！（生徒たちの作品製作の時間が・・・）」



3年間アツという間でした。実習が本当に楽しくて、最初は全然できなかったけど、今はもうバッチリです！

3年2組
生活デザイン科
浮波羽留菜さん



生デ科ナビティーチャー②



東馬場 朋子 先生
1年2組担任・食物担当。教員歴7年。垂水高校で3年目を迎える。「生徒達の技術の向上がすごい！全然できなかった生徒も、フルコースを作っちゃいます。」

↓昨年文化祭の様子
※卒業した3年生たち



垂高 Tarumizu high school short trip

ショートトリップ 3

※ショート・トリップ= short trip：小旅行

高校とは、若々しいエネルギーに満ちた青春ワールド全開の世界。
このコーナーは、垂水高校の先生や生徒をナビゲーターにお迎えして、誌面を通じて高校生活を知る「旅」をしちゃおうというコーナーです。名付けて垂高ショートトリップ。垂水高校へテイクオフ!!



垂水高校の学科徹底説明

普通科って
どんな感じ？



垂水高校の学科には、普通科と生活デザイン科があります。

今月はその学科を中心に、学校生活などについて生徒や先生に尋ねてみたいと思います。では早速、普通科について教えてください、佐藤先生!

「はい。まず本校教育の特徴ですが、『個に応じた指導』ができてくることです。少人数指導を行うことが出来ることから、生徒と



↑ 3年1組のダルマ／中央左の瀬戸口奈々さんと中央右の山田萌子さんが購入。

普通科ナビティーチャー



佐藤 知子 先生
2年1組担任・英語。教員歴16年。垂水高校で4年目を迎える。「英語は音読に力を入れています。ほぼ毎年、勉強合宿も行われています!」



教員の距離が近く、生徒としては質問しやすい環境と言えます。そのため、生徒一人一人の能力や個性が伸びていることを実感しています。さて普通科ですが、普通科は2年生から国立公立大学や私立大学、私立短大への進学を目指す進学コースと、主に就職や専門学校への進学を目指す、資格取得なども行う情報コースに分かれて学習しています。」

◎平成22年度資格取得状況

ワープロ実務検定1級	1名
ワープロ実務検定2級	8名
情報処理検定2級	5名
簿記実務検定2級	6名
珠算電卓実務検定2級	4名

次に3年1組の山田萌子さんと津曲樹里奈さんに、普通科での学校生活についてお尋ねしました。「みんな言っています、やはり先生と話しやすいというのが一番じゃないでしょうか。また夏休み期間中になると、先生が付き添って勉強を教えてくださいなど、他の学校ではなかなか無い贅沢な環境だと思えます。さらに、3年間クラスメイと担任が一緒だから、深い絆で結ばれている気がします。」

※3年1組には、みんなの受験合格を願い、太宰府天満宮で購入されたダルマが飾られています。

